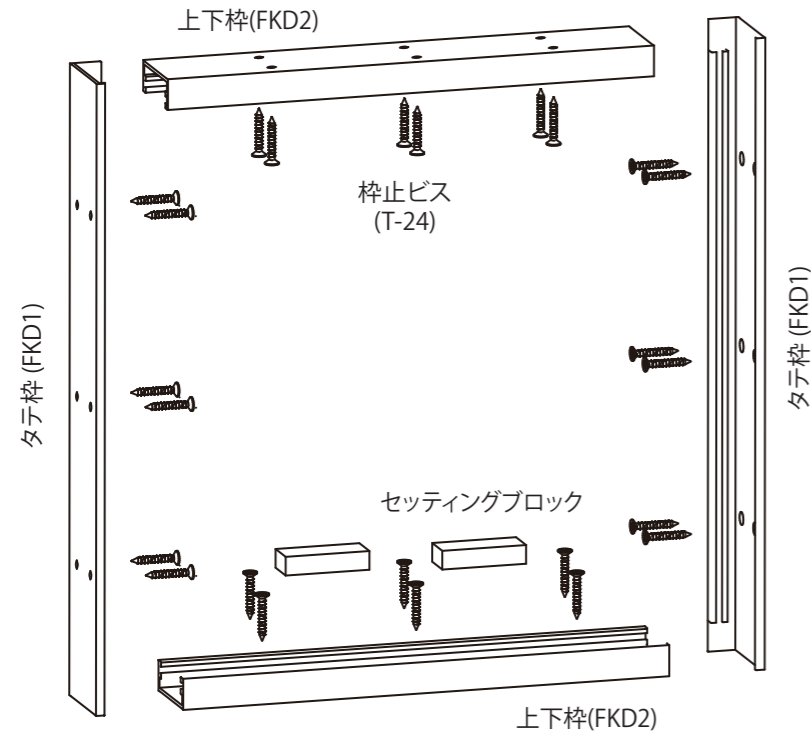
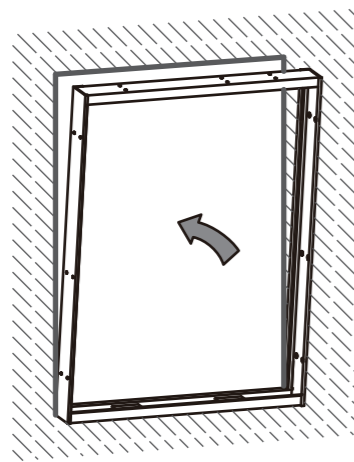


## 枠の概要



⚠ タテ枠(FKD1)上下枠(FKD2)には、気密材がついています。

## 1 枠のはめこみ

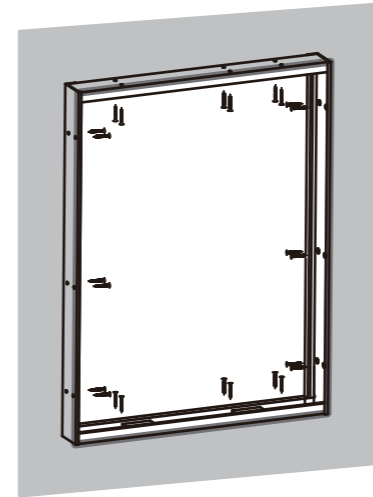


- ① 左右のタテ枠に上下枠をはめ込んで、四角に仮組みします。  
※ このとき枠の四隅をテープなどで仮固定すると②の作業が行いやすくなります。
- ② 既存の枠へそのままはめ込みます。

## 2 枠の取付け

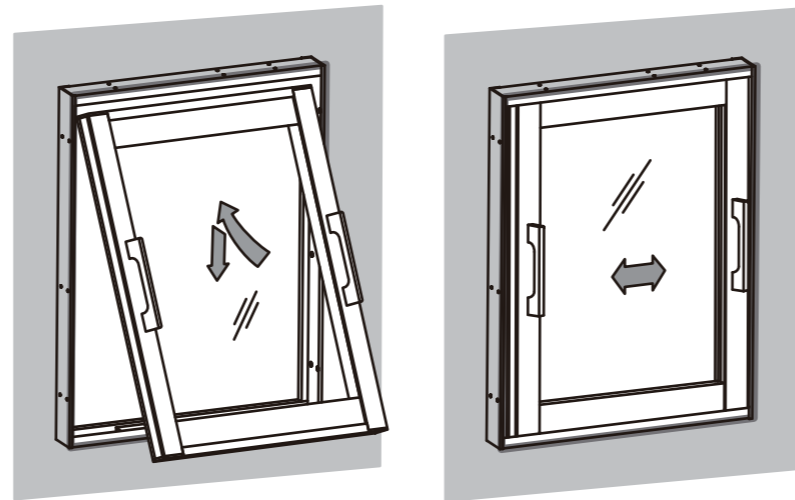
穴が空いている所に取付ビス (KR-24) を打ちます。

⚠ ビスはあまり強く打ち込まないでください。枠の変形の原因となります。



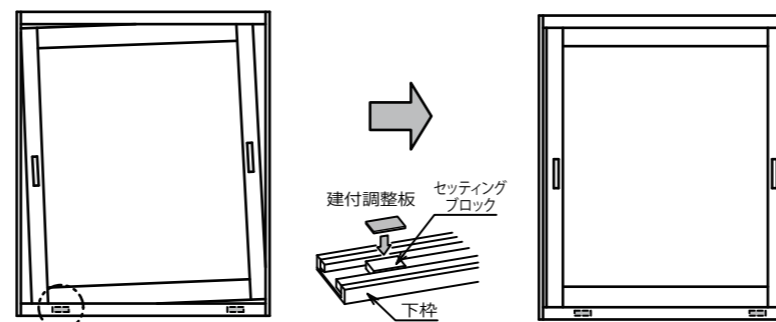
## 3 障子の組込み

- ① 障子の取手をもって、図のように上枠の溝いっぱいにはめ込み、障子の下部が下枠をかわしたら設置します。
- ② 左右のチリが均等になるよう、障子を横にずらします。



## 4 建付調整

図-1のように既設枠の変形などにより、障子と枠のチリが目立つ場合、障子の下がっている下隅で、セッティングブロックに添付の「建付調整板」を貼って(図-2)、調整してください。



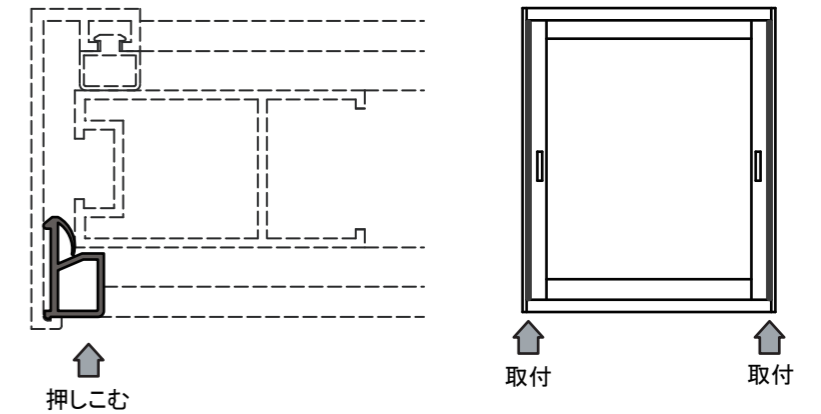
< 図-1 >

< 図-2 >

[ 完成 ]

調整によってもタテ枠と障子のチリが気になる場合、目隠し材を間に押しこみ、隠すことができます。

- ⚠ 目隠し材の取付けは、下図の位置へ押し込んでください。必要以上に押し込まないでください。  
なお目隠し材は、意匠性を目的としたものであり、気密性能を保持する目的の部材ではありません。  
必要に応じてご使用ください。
- ⚠ 目隠し材取付けの際は、施主への付け外しに関するご説明・ご理解をいただいた上での施工をお願いします。



- ⚠ 目隠し材を取付けた窓において、清掃等のため取り外す場合、目隠し材の端部からひねる形で引き抜きますと、スムーズに取り外しが出来ます。  
無理に引き抜くことは、目隠し材が伸びたりちぎれたりする原因となります。
- ⚠ また樹脂製のヘラ等を用いて、下図のように枠と目隠し材の端部からすき間へもぐりこませ、ヘラを上下にすべらせると、さらにスムーズに取り外しが出来ます。

